

選択的評価基準「研究活動の状況」(案)

選択的評価基準A 研究活動の状況
A - 1 研究体制及び研究支援・推進体制が適切に整備され、機能していること。
A - 2 研究活動が適切に行われており、研究の成果が上がっていること。

趣旨

大学は優れた人材の育成を担うとともに、幅広い研究活動によって、広く社会・経済・文化の発展を支える役割を社会から期待されています。

この大学評価基準では、教育活動を中心とした大学の総合的な状況の評価を実施すると基本的方針から、研究活動に関しては、基準3で「教育の目的を達成するための基礎となる研究活動」の実施状況について評価を行うとともに、基準5において「授業の内容が、全体として教育の目的を達成するための基礎となる研究活動の成果を反映したものとなっているか」との基本的な観点を設定し、各大学では、こうした側面から教育活動と関連する研究活動について評価を行うこととなります。

一方、各大学では、教育活動とは必ずしも直接的には関連付けられない研究活動も広く行われています。各大学が研究活動を継続して活発に進めるためには、研究を実施する体制及び研究支援・推進を行う体制の整備、研究推進の施策の実施が不可欠です。また、大学は、現在の研究活動や研究成果の状況及び社会・経済・文化の領域への効果についての確に把握し、研究活動の改善や向上を図り、それらを社会に対して広く示していくことを求められています。

この選択的評価基準は、このような大学の研究活動の全般的状況の評価を希望する大学に対応するために設けられているものです。

この選択的評価基準では、まず、研究活動に関する大学の目的に照らして、研究活動に携わる組織体制、研究活動を支援する組織体制、研究推進のための施策の実施状況（組織内の資源配分に関する措置や研究に関わる規定の策定等）、及び研究活動の質の向上のための改善システムが、それぞれ適切に整備され、機能しているかを評価します。

さらに、成果物の刊行、共同研究の状況等を踏まえた研究活動の活発の度合、競争的研究資金の獲得状況、外部評価や受賞状況等から判断した研究の質の状況、研究成果の活用状況等の分析から明らかにされた社会・経済・文化的な貢献について、それぞれ大学の目的に照らして評価します。

基本的な観点

- A - 1 - 研究体制及び研究支援・推進体制が適切に整備され、機能しているか。
- A - 1 - 研究活動に関する施策が適切に定められ、実施されているか。
- A - 1 - 研究活動の質の向上のために研究活動の状況を検証し、問題点等を改善するためのシステムが適切に整備され、機能しているか。

- A - 2 - 研究出版物、研究発表、特許、その他の成果物の公表状況等及び国内外の大学・研究機関との共同研究や地域との連携状況等から見て、研究が活発に行われているか。
- A - 2 - 競争的研究資金の獲得状況、外部評価や研究プロジェクト等の評価、受賞状況等から見て、研究の質が確保されているか。
- A - 2 - 社会・経済・文化の領域における研究成果の活用状況や関連組織・団体からの評価等から見て、社会・経済・文化の発展に資する研究が行われているか。

研究活動に関連する基準等について

基準3 教員及び教育支援者

3 - 3 教育の目的を達成するための基礎となる研究活動が行われていること。

基本的な観点

3 - 3 - 教育の目的を達成するための基礎として、教育内容等と相関性を有する研究活動が行われているか。

基準5 教育内容及び方法

(学士課程)

5 - 1 教育課程が教育の目的に照らして体系的に編成されており、その内容、水準、授与される学位名において適切であること。

(大学院課程)

5 - 4 教育課程が教育の目的に照らして体系的に編成されており、その内容、水準、授与される学位名において適切であること。

(専門職大学院課程)

5 - 8 教育課程が教育の目的に照らして体系的に編成されており、その内容、水準、授与される学位名において適切であること。

基本的な観点

(学士課程)

5 - 1 - 授業の内容が、全体として教育の目的を達成するための基礎となる研究活動の成果を反映したものとなっているか。

(大学院課程)

5 - 4 - 授業の内容が、全体として教育の目的を達成するための基礎となる研究活動の成果を反映したものとなっているか。

(専門職大学院課程)

5 - 8 - 授業の内容が、全体として教育の目的を達成するための基礎となる研究活動の成果を反映したものとなっているか。